

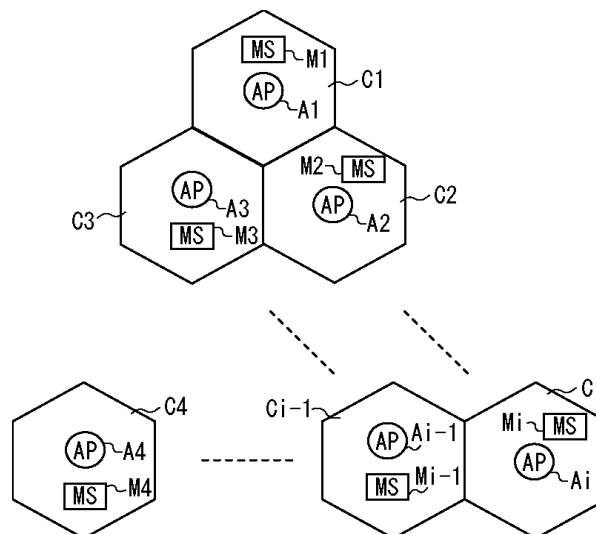
技術の名称

無線通信システム

適用分野

無線LAN、パーソナル無線システム

- 目的 無線資源の有効活用、データ伝送スループットの向上
- 効果 本発明によれば、ダイナミックスペクトラムアクセスシステムにおいてデータ伝送のスループットを向上せしめているので、逼迫している電波資源を有効に活用することができる。
- 技術概要 本発明に係る無線通信システムは、アクセスポイントAPの通信可能区域であるセルC内にAPと無線通信ができる移動端末MSが配置されており、MSがチャンネルセンシング結果を送信するとAPIはデータ伝送周波数を決定すると共にデータチャンネル情報とデータチャンネルを同時に送信する通信手順を採用することによって、ダイナミックスペクトラムアクセスシステムにおいてチャンネルセンシング結果の交換による時間遅延を原因とするデータ伝送のスループットの低下を抑制する。

■ 特記事項、
図など

- 主たる提供特許 特許等の名称:無線通信システム、受信局、および送信局
登録番号:
出願番号:特願2010-003545 出願日:平成22年1月12日
公開番号:

- 実施実績 有、 ○無
- 提供形態 ○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先 株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2
Tel 0774-95-1171, 1195 E-mail ; patent@atr.jp